

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成20年3月3日

【評価実施概要】

事業所番号	2276100399		
法人名	有限会社 稔りの安らぎ		
事業所名	グループホーム稔りの安らぎ		
所在地 (電話番号)	掛川市西大淵6803-2		(電話) 0537-48-0321

評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成19年11月16日		

【情報提供票より】(19年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	12 人, 非常勤 6 人, 常勤換算 7.35 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨造り 2階建ての1階～2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,100 円	その他の経費(月額)	9,900 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(90,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,600円			

(4) 利用者の概要(11月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.6 歳	最低	58 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくらクリニック 掛川総合病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「利用者が、その人なりに生きがいをもち、価値ある日常生活を送る」をホーム理念に、職員同士連携を図り、その実現に向けて取り組んでいる。介護計画の策定方法としては、原則と基本に則り、利用者の状態や変化をきめ細かく観察し、全職員で取り組んでいる。職員の質の向上を図るため、研修の充実の必要性を思い、段階に応じた研修の機会を確保している。日常生活では、豊かな自然環境のもと、利用者と一緒に積極的な外出機会を設け、利用者の生活の幅を広げるような工夫と検討を常に考えているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画の定期的な見直しや、注意物品の保管場所の確保等、ホーム内での改善項目については、確実な改善が行われている。地域との交流や市行政との関わりについては、ホーム自身も課題としているが、今後の取り組みに期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解し、全ての職員が自己評価に取り組んだ。これまでの取り組みを振り返り、日々のサービス提供方法を振り返る機会として位置付け取り組んだ。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議が設置されていない。会議趣旨は理解しているので、利用者サービス等の向上に向けて、利用者や家族、地域や行政関係者に働きかけを行い、早期に発足されるように期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者一人ひとりが充実した日々を送ることができるよう、利用者の思いや希望を把握してさげないサービス提供に努めている。職員のチームワークも良く、利用者に応じたサービス提供を行っている。ホーム自身も課題として、家族への連絡や情報提供を更に充実されるように期待したい。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事や祭り等に参加し、買い物や散歩等の外出時には、地域や近隣住民と挨拶する関係となっているが、気軽な日常的な交流まで行っていない状況である。ホームの立地条件等の問題もあるが、利用者の日常生活の充実を図るためにも、日常的な交流が深まるような取り組みに期待したい。</p>
重点項目④	

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	代表者の熱い思いで設立した「利用者が生きがいを持ち価値ある日常生活をおくること」を理念に掲げ、開設から今日まで変わらず継承してきている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングや職員会議等で、理念の共有化を図り、実践に活かそうとしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事や地域の祭り、催事には参加している。近隣住民とも散歩等で声掛けできる関係となっているが、ホームも課題としているようにそれ以上の関係(気軽にホームに立ち寄られたりする等)にまではなっていない。	○	地域との交流の深まりを大切に考えているので、今後も地域に根ざす運営に向けて交流を深めて欲しい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、職員全員で自己評価票を記入し、管理者がまとめた。これまでの取り組みの振り返りの機会として取り組んだ。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は設置されていない。	○	法改正により運営推進会議の設置が運営基準に位置付けられているので、早期に発足させ、有効に機能させて欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護を利用する利用者も居るため、必要に応じた市との連絡は行っているが、市担当者等との利用者サービスの向上に向けた定期的な話し合いやケース検討が行われるにまでは至っていない。	○	保険者である市(職員)に働きかけを行い、地域密着型サービス事業の充実に向けた話し合いや検討が定期的に行われるように期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問の際には、利用者の日ごろの生活を伝えたり、定期的に電話連絡するなどしている。ホーム便りも定期的に発行するように考えている。	○	今後も家族に定期的に何を伝えるのかを検討し、家族との連絡を密に行えるような取り組みに期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が何でも気軽に言えるような雰囲気づくりに取り組んでいる。重要事項説明書には苦情申立連絡先が明記され、苦情の対処方法も明記している。家族からの意見や要望を受け止め、それを運営に反映するように考えている。	○	検討しているホーム便りの定期発行等で、家族との情報交換や連携を深めるように期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職や移動による弊害を良く理解し、できる限りそれを防ぐように取り組んでいるが、職員の離職もあることを課題にしている。	○	離職の理由は様々あると思われるが、これからでもできる限りそれを防ぐようにすることを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内での日常的な内部研修に加え、全国のホーム協会等が行う実務者研修を多くの職員が受講したり、必要な外部研修にも積極的に受講するようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内のホームへの見学も兼ねた研修会を実施している。訪問先のホームからも職員を受入れ、定期的な相互訪問や学習会を検討している。	○	他法人他ホームとの交流は難しい部分も多いがそれに取り組んでいる。今後も双方の質の向上を図る取り組みとして充実を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用申込み時には、利用申込者宅を訪問し、事業説明を行う他、利用前には見学を促し、顔なじみの関係を構築してからの利用を促している。体験利用も行えるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	できる限り利用者に寄り添いながらさりげない支援に徹するとともに、利用者から教えられたり、お互い喜び合える関係づくりを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりが、自分の思いや希望を表出しやすいような雰囲気づくりに努め、いくつかの中から選べるような機会を多く設けるようにしている。把握した利用者の意向も記録に留め、職員間で共有するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の意見を踏まえて、ミーティングで職員が意見を出し合い、計画作成担当者がまとめて具体的な介護計画としている。策定した計画は、家族にも郵送する等し、意見を得るようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じてモニタリングを行い、利用者や家族の要望を取り入れつつ、新たな計画を作成し、変化のみられる時には随時見直しを行っている。	○	生活介護活動記録として利用者の24時間の個別記録を記入している。一人ひとりの一日の生活や変化が良くわかる記録となっている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じ、希望するかかりつけ医の受診や理美容院への送迎などの支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望するかかりつけ医に受診するための支援を行い、同行もしている。受診結果については、速やかに家族にも伝えている。また、ホーム協力医の協力も得られるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	原則として、重度化した場合の受入れは行わない考えとしている。職員間でもその議論を定期的に行い、家族の意見も把握するようにしている。	○	ターミナルケアに対する希望は利用者や家族ごと様々と思われるが、今後もどのように対応するのかを定期的に検討して欲しい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを損ねることが無いように心掛け、定期的な確認も行っている。個人情報の保護に関しても、理解を深め、記録等は鍵のかかる書庫に保管する等留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの生活リズムにできる限り合わせた支援を行っている。食事時間も早朝から対応できるようにしている。散歩や買い物等の外出も利用者の希望に沿って対応するように配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の意向に沿って献立を作成し、食事の準備や片付け等も職員と一緒にしている。食事時間が楽しい時間となるように職員も一緒に同じ物を食べ、バイキング形式にしたり、外食や季節ごとの食事も取り入れている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日行えるようになっている。利用者の意向を踏まえ、楽しくのんびり入浴できるように心掛けている。入浴を好まない利用者にも根気強く入浴への促しを行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	草取りや居室の掃除、洗濯物たたみや食事の準備、雑巾作りなど、一人ひとりが出来ることを自分の役割として行っている。また、利用者の生活歴を把握し、楽しめる趣味活動等の充実も図っている。充実した日々が送れるような検討も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	積極的な外出支援に心掛け、ホームに閉じこもることが無いように心掛けている。また、日常の外出支援に加え、ドライブや外食の機会を設ける等、楽しんで外出できるような工夫もしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を理解し、利用者の自由な行動を見守るよう心掛け、日中の施錠は一切行わない支援をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署やセキュリティ会社の協力を得て、年2回の防災・避難訓練を行っている。利用者の避難方法の確認や消火機材類の使用法も学んでいる。	○	あらゆる場面を想定した避難訓練の実施や近隣(地域)住民の協力を得られるような関係づくりにも期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が食事を担当しており、一人ひとりの状態に合わせた食事を提供し、栄養のバランスや摂取量の把握を行っている。10月以降は、給食業者からの食材料の納入をはじめた。	○	利用者の希望を取り入れ、栄養士が献立を考えていたが、給食業者での献立を試行中とのこと。利用者にとって最良な方法となるように期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や居間の広い窓からは見晴らしが良く、静かで明るい。畳のコーナーやソファ等、共有空間は、思い思いに過ごせる場所が確保され、居心地良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテレビや冷蔵庫を持ち込んでいる利用者が多く、ベッドも使い易いように個人のものを用意している。一人ひとりがこだわりを持ち、個性ある居室となっている。		